

## 地域政策学部プレゼンテーション入試 [専願制]

紙出願

ポイント

● 総合的な探究の時間における活動や、起業計画の作成・実現、NGO・NPO活動、ボランティア活動など、地域社会での実践的活動を活用できる専願制入試

■ 入学検定料

35,000円

## 入試要項

学部・学科		募集定員
地域政策学部	地域政策学科	10

	出願期間	試験日	試験場	合格発表日
一次試験	2026年9月1日(火)▶ 9月7日(月)必着	— ※1	— ※1	10月1日(木)
二次試験	— ※2	10月18日(日)	<本学> 豊橋	11月2日(月)

※1 書類審査のみのため試験日はありません。 ※2 二次試験受験対象者は、一次試験合格者のみとなります。

## 出願資格・選考方法・配点

出願資格	選考方法・配点
<p>次の①～⑤を満たすこと。</p> <p>①2027年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等学校(特別支援学校の高等部も含む)または中等教育学校卒業見込みの者、または本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業する見込みの者と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>②本学専願者(本学を第1志望とし、合格者は必ず入学すること)</p> <p>③高等学校(特別支援学校の高等部も含む)または中等教育学校の全体の学習成績の状況が3.0以上の者</p> <p>④ボランティア活動、NGO・NPO活動、起業活動、国際的な諸事業への参加経験など、より良い地域社会の実現に向けて、個人・団体を問わず、主体的・中心的に活動してきた者(団体の一員として活動し、団体として顕彰された者は除く)</p> <p>⑤入学後も、学生地域貢献事業をはじめ本学部が推奨する実践的活動に積極的に取り組むとともに、実践的活動に役立つ専門科目を履修し高い学習意欲を持ち続ける者</p>	<p>&lt;一次試験&gt; 出願書類による判定</p> <hr/> <p>&lt;二次試験&gt; 一次試験合格者のみ対象</p> <p>○調査書 50点 全体の学習成績の状況を10倍した数値を得点とします。</p> <p>○面接(個人) 50点</p> <p>○プレゼンテーション 200点【別表】 希望するコースごとに設けられたテーマに沿って、プレゼンテーションを行ってください。</p> <p>上記による総合判定(300点満点)</p>

## 【別表】

コース	テーマ
公共政策コース	高校時代までの活動内容・実績を踏まえ、それを本学入学後に公共政策(社会の公的な問題に関する国や自治体の施策、NPO・NGOの活動、住民相互の合意形成)の学びにどう結びつけ、まちづくりや地域活性化につなげていきたいか。
経済産業コース	高校時代までの活動内容・実績を活かし、それを本学入学後に経済や産業の動き(労働者の雇用や所得、起業、資金調達、事業承継、イノベーション、経済成長や物価、国際的な経済関係など)、それに関する政策の学びにどう結びつけ、グローバル時代の地域経済の発展につなげていきたいか。
まちづくり・文化コース	高校時代までの活動内容・実績を踏まえ、本学入学後に、例えば地域の歴史文化や祭り・伝統工芸を活かしたまちづくり、防災や観光の観点からのまちづくりなど、どのようなまちづくりに、どのように取り組んでいきたいか。
健康・スポーツコース	高校時代までに、競技者または競技を支える立場(トレーナー/アナリスト/マネージャー等)として取り組んだ活動内容・実績を活かし、本学入学後にそれらをどのように発展させ、地域の健康づくり、スポーツ政策や産業、大学スポーツの振興などにつなげていきたいか。
食農環境コース	高校時代までの食・農・環境に関する活動内容・実績を活かし、本学入学後に地域の食や農を活かした地域の活性化にどうつなげていきたいか。

## 前年度入試結果

学部・学科		募集定員	志願者数
地域政策学部	地域政策学科	10	43

	受験者数	合格者数	倍率 (受験者/合格者)
一次試験	43	28	1.5
二次試験	27	14	1.9